

今が分かる

ふくしまの新聞

vol. 56

2017年6月16日

発行：福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4250

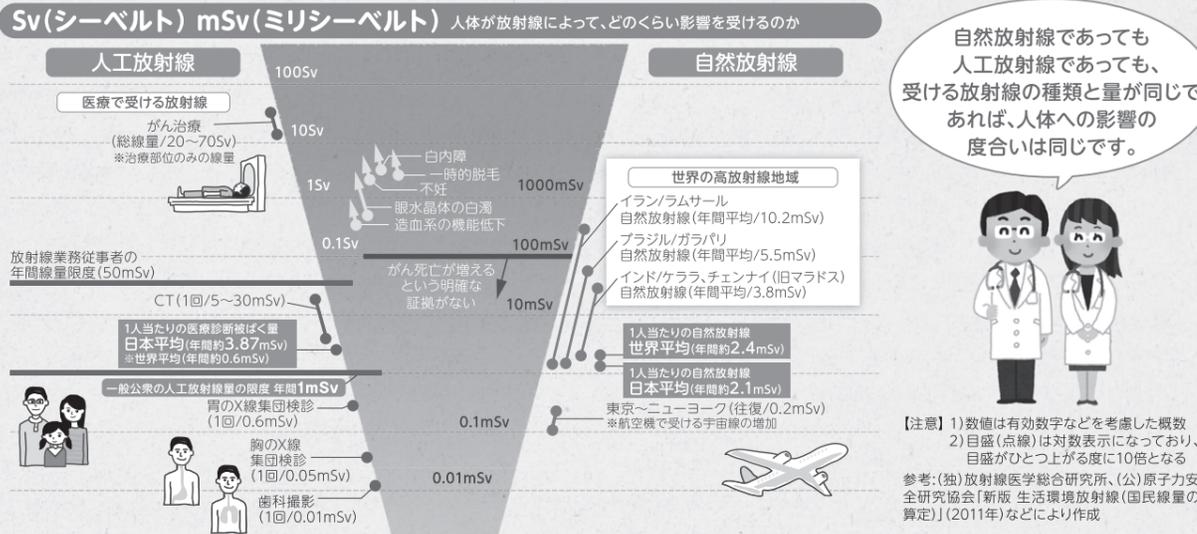
放射線について正しく理解しよう!

東京電力福島第一原子力発電所の事故から7年目を迎えた現在でも、放射線の健康への影響には多くの不安の声が挙がります。その背景には放射線について、「普段なじみのない、よく分からないが危険なもの」というイメージがあることが大きな要因にあります。そこで本号では、放射線への適切な理解を促進するべく、放射線の人体への影響や県内の放射線量の状況をお伝えしていきます。

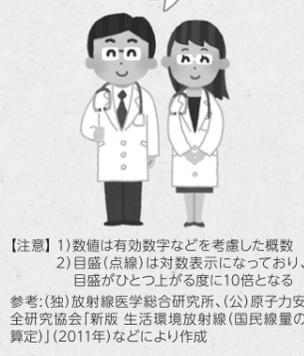


Q1. 日常生活の中でも放射線を受けているの?

A1. 日常生活の中において私たちは、宇宙線、空気中のラドン、飲食物など自然界に存在する放射線からある程度の影響を受けています。また、自然放射線のほかに、医療機関での検査等によって人工的な放射線も受けています。



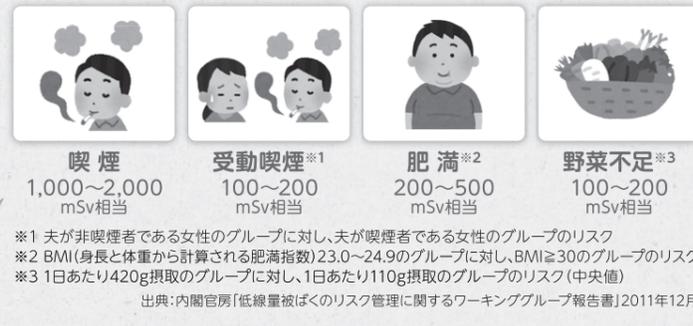
自然放射線であっても人工放射線であっても、受ける放射線の種類と量が同じであれば、人体への影響の度合いは同じです。



Q2. 放射能を受けると、健康にどんな影響があるの?

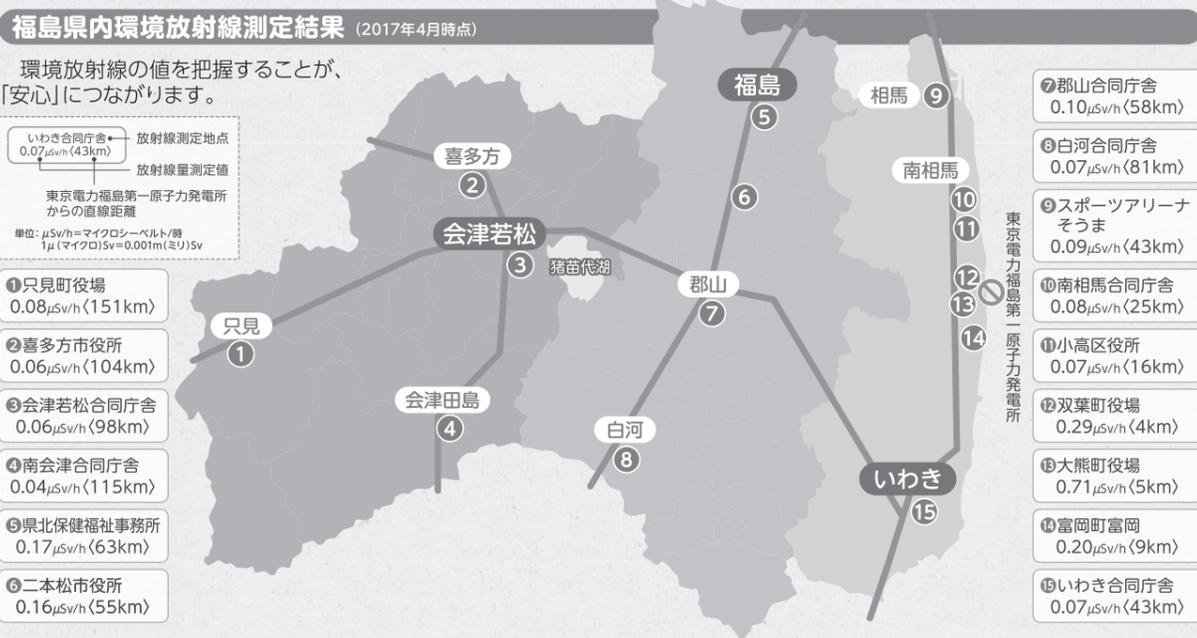
A2. 100mSv程度以下の放射線被ばくによる健康影響(発がんリスク)は証明することは難しいと考えられています。他の生活要因(喫煙、飲酒、肥満等)による影響が大きいので、他の生活要因による発がんリスクの増加なのか、低線量放射線被ばくによる発がんリスクの増加なのか、判別できないためです。

発がん要因のシーベルト換算

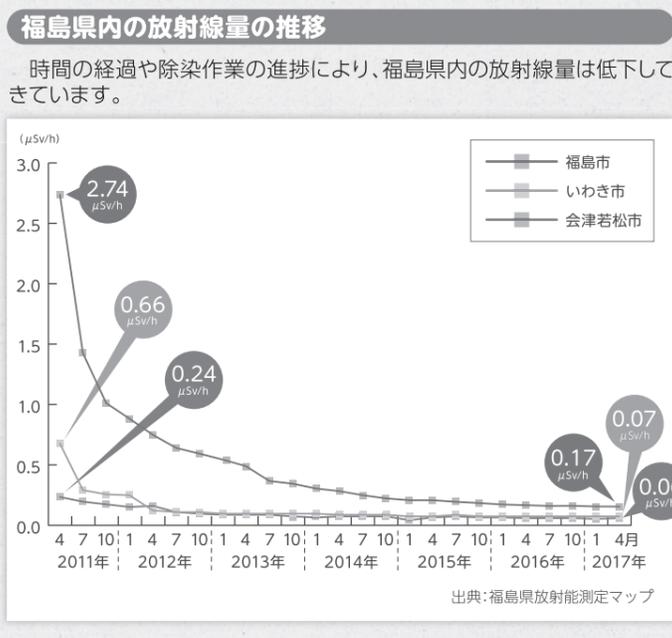


他の生活要因のリスクを線量で換算するとどうなるの?

Q3. 福島県内の放射線量の状況はどうなっているの?



A3. 現在の県内放射線量及び推移については以下のようになっています。



Q4. 放射線に対する取組には、どういうものがあるの?

農林水産物のモニタリング調査

福島県では、県産農林水産物の放射性物質検査を実施しており、基準値を超えた食品は、市場には流通させません。

平成28年度は、530品目・2万1180点のモニタリング調査を行い、基準値超過の点数は6点(全体の約0.03%)と、ほとんどが基準値以下となっています。

【平成28年8月24日~平成29年3月31日】

品目	検査件数	基準値超過件数	割合
玄米(全量全袋検査)	約1,024万件	0件	0.00%

【平成28年4月1日~平成29年3月31日】

品目	検査件数	基準値超過件数	割合
野菜・果実	3,793件	0件	0.00%
畜産物(原乳・肉類・鶏卵)	4,349件	0件	0.00%
山菜・きのこ(野生を含む)	1,832件	2件※1	0.11%
水産物(海藻を含む)	9,505件	4件※2	0.04%

※1 山菜・きのこの2件については全て山菜(野生)のもの。
※2 水産物の4件については全て河川・湖沼のもの。

検査結果については下記ホームページをご覧ください。

農林水産物のモニタリング検査結果 [ふくしま新発売。](#)

米の全量全袋検査結果 [ふくしまの恵み](#)

県民健康調査とは?

県民健康調査は、福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげ、もって、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図ることを目的として、福島県が実施しています。

基本調査では、平成23年3月11日時点での県内居住者を対象に、原発事故後の4カ月間に「いつ」「どこに」「どのくらいいたか」といった行動記録から、その期間に各個人が受けた放射線による外部被ばく線量を推計します。

その後の詳細調査では、健康状態を把握するため、甲状腺検査、健康診査、妊産婦に関する調査、こころの健康度・生活習慣に関する調査を実施しています。

また県民健康調査に関連して、ホールボディカウンターによる内部被ばく検査を実施しています。大気や飲食物などから体内に取り込んだ放射性セシウムを測定し、概ね一生の間を受けるとされる内部被ばく線量を推計します。

県民健康調査に関してご不明な点などある場合には、福島県県民健康調査課までお問い合わせください。

問 福島県 県民健康調査課 ☎024-521-8219

食事調査の実施

食事調査って何?.....実際の食事に含まれる放射性物質量を測定することにより、内部被ばく線量の推定値を把握することができます。

福島県では、「コープふくしま」などが、陰膳方式の食事調査を2016年度も継続して実施しました。組合員の協力により、6年間で800家庭を調査した結果から、下限値(1Bq/kg)以上の放射性セシウムを含む食事を継続して摂取している可能性は低いと想定されます。

※陰膳方式:毎食家族人数より1人多く食事を作り、2日分を試料として測定します。

食事調査の詳細については、下記コープふくしまホームページをご覧ください。

生活協同組合コープふくしま 食事調査

放射線についてもっと詳しく知りたい方はこちらから [環境省 除染情報サイト](#)

もしくは同サイト内「お問い合わせ」よりご確認ください。



避難地域における医療機関の診察実施状況

現在、福島県内10市町村で、下表のとおり、2つの病院、12の診療所、4つの歯科診療所及び2つの薬局が診療・営業しています。また、南相馬市の小高調剤薬局、富岡町の富岡中央医院及び浪江町の浪江診療所が開所しました。詳しくは下記福島県ホームページをご確認ください。

また、ふたば救急総合医療支援センター（福島県立医科大学）では、双葉郡内にお住まいの通院が困難な方を対象に、訪問診療を行っています。詳しくは、お住まいの町村の保健福祉担当課にお問い合わせください。

南相馬市(小高区)	市立小高病院	川俣町(山木屋地区)	川俣町国民健康保険山木屋診療所
	もんま整形外科医院	榎葉町	ときクリニック
	半谷医院		蒲生歯科医院
田村市(都路地区)	小高調剤薬局	富岡町	ふたば復興診療所(ふたばりカーレ)
	市立都路診療所	富岡町	町立とみおか診療所
	市立都路歯科診療所		富岡中央医院
広野町	高野病院	川内村	川内村国民健康保険診療所
	馬場医院	浪江町	浪江町国民健康保険浪江診療所
	新妻歯科医院	葛尾村	葛尾歯科診療所
	広野薬局	飯舘村	いいたてクリニック

※医師の都合等により、診療日・診療時間に変更となる場合があります。受診の際はあらかじめ診療日等を医療機関にご確認ください。

避難地域における医療機関の診察実施状況

検索

問 福島県 地域医療課 ☎024-521-7915



小児健康診査を開始します

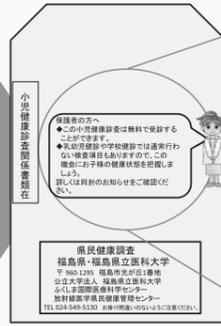


平成29年4月1日現在、対象地域に住居票のある、平成14年4月2日から平成29年4月1日までに生まれた方等は、平成29年7月～12月まで、県内小児健康診査医療機関一覧に掲載の医療機関にて県民健康調査「健康診査」を受けることができます。健診費用は無料です。

「小児健康診査」お知らせ、平成29年度「小児健康診査」医療機関一覧等の発送時期は、6月下旬～7月上旬を予定しております。また、県外に避難されている方には、6月～10月頃県外版を別途お送りいたします。

小児健康診査封筒

今年度はこの封筒で小児健康診査対象者へ送付されます。



保護者の方へ

- ◆この小児健康診査は無料で受診することができます。
 - ◆乳幼児健診や学校健診では通常行わない検査項目もありますので、この機会にお子さまの健康状態を把握しましょう。
- 詳しくは同封のお知らせをご確認ください。

問 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター ☎024-549-5130 (土日祝日を除く午前9時～午後5時)

おかけ間違いのないようご注意ください

被災12市町村の約300事業者の求人情報サイト「ふくしまで働こう!復興エリア求人特集」を開設しています



避難指示等の対象となった被災12市町村(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、榎葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村)の事業者の人材不足解消を図るため、上記市町村を中心とした求人情報サイトを開設しています。

事業を再開・拡大し、復興を遂げようと意欲に燃える多数の企業が登録しています。求人情報からその思いを感じ取り、ぜひご応募ください。

市町村ごとの特集、住宅補助あり特集など、会社やお店の社長や従業員のメッセージ付きで、希望の職種を探しやすくなっています。復興エリアで働いてみませんか?

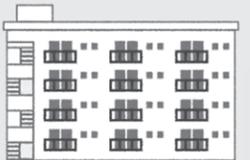
スタンバイ 福島

検索

問 経済産業省委託事業 福島求人支援チーム事務局 ☎0120-954-065

復興公営住宅の現在の整備状況

現在、県が進めている復興公営住宅について、平成29年4月末時点で、計画戸数4,890戸のうち3,423戸(70%)が完成しました。地区ごとの工程表と進捗状況、各団地の外観と室内の様子の動画を福島県ホームページに掲載しています。詳しくは下記福島県ホームページよりご確認ください。



地区ごとの工程表と進捗状況

復興公営住宅 地区ごとの工程表と進捗状況

検索

各団地の外観と室内

福島 復興公営住宅 動画

検索

問 福島県 建築住宅課 ☎024-521-8049



不動産取得税の軽減措置について

東日本大震災及び原子力災害により被災した家屋とその敷地、農地の所有者が、それらに代わるものを取得した場合、取得した家屋とその敷地、農地に係る不動産取得税が軽減されます。

子育て支援策の一環として、三世以上の方が同居または近居する住宅を取得した場合、取得した住宅に係る不動産取得税が軽減されます(福島県内の不動産に限り)。詳しくは下記までお問い合わせください。



問い合わせ先	電話番号	問い合わせ先	電話番号
県北地方振興局	☎024-521-2694	南会津地方振興局	☎0241-62-5214
県中地方振興局	☎024-935-1254	相双地方振興局	☎0244-26-1126
県南地方振興局	☎0248-23-1517	いわき地方振興局	☎0246-24-6033
会津地方振興局	☎0242-29-5254	福島県庁 税務課	☎024-521-7068



キビタンと行く

— vol.7 —

ほっとふくしま

このコーナーでは、キビタンが見つけた魅力的で新しい「ふくしまの今」をご紹介します。

「ふくしまおいしい大賞2016」が決定!

ふくしまおいしい大賞

「ふくしまおいしい大賞」は、県産農林水産物で作った6次化商品の中から、年間を通して高評価を得た商品を表彰するものです。平成24年から、毎年1回、販売実績やアンケート結果を元に審査を実施。麺、惣菜、菓子・スイーツなど、7つの部門ごとに大賞と優秀賞を選出しています。

今年509点の中から、県が15年かけて開発したブランド米「天のつば」の米粉を使ったライススイーツ(お米のプリン)や、須賀川市産のバラで作った「食べるバラ コンフィチュール」など7点が大賞を受賞。14点が優秀賞となりました。受賞商品は福島市のコラッセふくしまで購入できます。どれも生産者が腕によりをかけて作った自慢の逸品です。ぜひ一度ご賞味ください。



「ふくしまおいしい大賞2016」で受賞した商品がズラリ

問 福島県 農産物流通課 ☎024-521-8041

多くの避難者が帰れるよう、南相馬市で支援活動。



東日本大震災の後、南相馬市では既にほかの団体が支援活動を行っていました。しかし活動が終わってしまうと聞いて、自分が続けなくてはと思いました。そこで南相馬市にボランティアセンターを設置。現在は避難者が帰還するための瓦礫撤去、被災家屋の清掃、環境整備などを行っています。

避難している方とお話した時「これでまた生きていける」と、泣いて喜んでくださった方がいました。手を合わせてくださった方までいました。ボランティアの人数集めなどの苦労も多いですが、そんな方たちと出会うと「これが自分の使命なのだ」とやりがいを感じます。今後は住民の皆さんと、自分たちの気持ちを話し合う交流会も行っていきたいです。1人でも多くの方が安心して帰ってこられるよう、できる限りサポートしていきます。

ボランティア参加者は9割以上が常連で、団体での参加が多いです。しかしフレンドリーであたたかい方ばかりなので、これから参加される方もすぐ打ち解けられると思います。興味のある方はぜひお問い合わせください。お待ちしております。



松本さんの活動内容に興味を持った方はコチラ

問 南相馬市ボランティア活動センター
運営：NPO法人 災害復興支援ボランティアネットワーク ☎0244-26-8934 (受付時間 午前9時～午後6時)

ふくしまで生きる

福島県内で頑張っている人たちの活動をお伝えします。



NPO法人 災害復興支援ボランティアネットワーク 理事長 松本 光雄さん

【プロフィール】

平成23年5月に南相馬市ボランティア活動センターを設立。原発20km圏内の小高区を中心に、南相馬市全域で活動を行っている。

福島県で頑張る人やイベント情報が満載の広報誌がご覧いただけます。

福島県広報誌「ゆめだより」バックナンバーはこちら

ゆめだより

検索



「ふくしまの今が分かる新聞」バックナンバーはこちら

福島 今が分かる新聞

検索



編集後記

じめじめとするイヤな季節がやってきましたが、皆さん体調は崩していませんか。さて、今年は南東北総体が開催され、福島県を含む各地で、高校生同士の熱い戦いが始まります。選手たちには、暑さと湿気を吹き飛ばすくらいの素晴らしい試合をして欲しいです!【<】